

2021年9月22日

2021年9月27日更新

東北経済産業局

「三陸水産イノベーションサミット」を開催します

～水産業を起点に他業種を巻き込み、開いていく水産業への変革を目指す～

東北経済産業局では、各関係機関との共催等により「三陸水産イノベーションサミット」を開催します。

本事業は、昨年度に引き続き、令和3年度水産加工業等イノベーション人材確保事業「三陸水産イノベーションプロジェクト」の一環として実施するもので、三陸の水産関連事業者が中心となり、三陸を「オープンで世界一水産イノベーションが起る地に」するために開催する、未来志向型のオンラインイベントです。

イベントは、動画配信サービス「YouTube Live」にて配信します。

1. 事業目的

本事業では、先進的な水産加工事業者のプレゼンテーションやモデレーターとのトークセッション、そのほか水産業特化型の副業・兼業マッチングや、大学生向けインターンの成果報告を行うことで、三陸の水産加工業や先進的な事業者の魅力を発信することを目的としています。

2. 開催日時

- DAY1:10月21日(木曜日) 18時00分～21時05分
- DAY2:10月22日(金曜日) 18時00分～21時05分
- DAY3:10月23日(土曜日) 18時00分～21時05分

3. プログラム内容

- (1) 三陸水産イノベーター・トークセッション
- (2) Gyosomon(ギョソモン)成果報告
- (3) 水産特化型インターン成果報告

4. 主催

経済産業省 東北経済産業局、フィッシャーマン・ジャパン

5. 共催・後援

復興庁、水産庁、岩手県、宮城県、福島県、三陸地域水産加工業等振興推進協議会

6. 協賛・協力

東日本電信電話株式会社 (NTT東日本)

7. 対象者

水産事業者、水産業に興味・関心のある都市圏に住む社会人や学生、金融機関、テック企業、研究機関、水産関係機関、自治体等

8. 参加費

無料

9. 参加方法

下記 QR コード又は URL にアクセスし必要事項を御記入の上、お申込みください。



三陸水産イノベーションサミット 2021 お申込フォーム

URL : <https://forms.gle/3QWS7eyanhxSF22g8>

※参加は事前申込み制とし、お申込みいただいた方に視聴用 URL を送付します。

各自パソコン、スマートフォン等から視聴いただきます。

※アーカイブを御覧になりたい方も URL から申込みが必要です。

10. お問い合わせ先

フィッシャーマン・ジャパン

電話: 0225-98-7091 (受付時間: 平日 9 時~17 時)

E-MAIL: jinzai@fishermanjapan.com

本事業は、当局からフィッシャーマン・ジャパン(宮城県石巻市)に委託しています。

詳細については、下記ホームページを御覧ください。

三陸水産イノベーションプロジェクト

URL : <https://sanrikusuisan-innovation.go.jp/>

(本発表資料のお問合せ先)

東北経済産業局産業部東日本大震災復興推進室長 藁谷 尊

担当者: 井元、西谷、大場

電話: 022-221-4813 (直通)

FAX: 022-215-9463

海は変わった。仕事はどうだ
『三陸水産イノベーションサミット2021』リリース
～水産業を起点に他業種を巻き込み、開いていく水産業への変革を目指す～
主催 東北経済産業局、フィッシャーマン・ジャパン

10月21・22・23日 3DAYS オンライン開催



昨年開催し好評を得た『三陸水産イノベーションサミット』を今年も開催いたします。昨年のイベントでは、発表企業18社、視聴者数はのべ1,096人と、全国各地から多種多様な方にご参加いただき、水産業に関心を持っていただくことができました。「令和2年東北経済・産業の10大ニュース」（東北経済産業局 選）にもランクイン。暗いニュースが多かった令和2年の中でも、明るい話題となりました。イベント終了後も、発表企業と水産事業者のマッチングにより商品企画に進むなど、イノベーションは三陸を中心に巻き起こっています。

また、近年のオンライン化が進んだことで、＜働き方改革＞から副業・兼業を視野に入れ暮らしそのものを見直す地方への回帰の動きも盛んになってきました。

本サミットでは、三陸で先進的な取組を行っている水産加工会社等による『三陸水産イノベーター・トークセッション』、水産業の副業・兼業やマッチング事例を紹介する『Gyosomon（ギョソモン）』、若者に向けて水産業の魅力を発信する『水産特化型インターン成果報告』など、日本の水産業の未来を担う『三陸水産イノベーションサミット』に相応しい内容の3日間となっています。

水産事業者はもちろん、大学、金融機関、水産業に関心がある民間企業、通信会社、設備会社、ベンチャー企業、大学生など幅広い層に響く、熱い内容です。

ぜひ、本サミットについて、貴社媒体にてお取扱いいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

■開催日時：令和3年10月21日（木）・22日（金）・23日（土）18:00～21:05 3日間連続開催

■配信方法：Youtube・live・等を用いたオンラインによる配信 事前申込制

※オンライン質問ツールを使用し登壇者と視聴者の交流を促す。

■配信会場：NTT東日本・スマートイノベーションラボ仙台（想定）

■想定視聴者：

- ・水産業、一次産業、地方創生、イノベーション、三陸、等に関心のある社会人、学生等
- ・三陸の水産加工業を支援したい金融機関、テック企業、研究機関、関係機関、自治体等

■目標視聴者数：3日間のべ1,000人（アーカイブ視聴を含む）

■主催：東北経済産業局、フィッシャーマン・ジャパン

■共催・後援：復興庁、岩手県、宮城県、福島県、三陸地域水産加工業等振興推進協議会

■実施内容：

1. 三陸水産イノベーター トークセッション（目的：業界全体、企業の魅力発信）

水産業は急速に進化を遂げ、DXやSDGs、地域創生など、時代のキーワードの先端を走っています。セッションでは、三陸の水産加工業の魅力、三陸の先進的な水産加工会社の魅力を視聴者に知ってもらうことを目的に、水産業の先進的な事業、可能性、そして今後の理想や希望などのプレゼンテーションの後、視聴者からリアルタイムで質問を受け付け、トークセッションを行います。

2. GYOSOMON！成果報告（目的：副業・兼業希望者への魅力発信）

これまで水産業と交わることのなかった業態と、副業という新しい形での連携に拍車がかかっています。

Gyosomon！（水産業の副業・兼業マッチング）の成果報告では、2020年度に実施した副業・兼業に実際にアプローチした人材や、受入れに興味がある水産加工会社の副業・兼業の可能性を紹介。昨年はマーケターなど他業種が水産業に積極的に参入し、イノベーションをブーストしています。これまで副業・兼業を行った両者に、事業の評価と成果、懸案事項、反省点などとともに、副業・兼業を検討している方へのアドバイスなどを話して頂くとともに、視聴者からもリアルタイムで質問を受け付けます。

3. 水産特化型インターン成果報告（目的：若者に向けての魅力発信）

一次産業は今、学生をはじめとする若い世代に熱い視線が送られています。世代が変わり、学生ならではの視点が新たなイノベーションを生み出し、水産業にも好循環が生まれています。夏期に実施した水産特化型インターンの参加者によるプレゼンテーションは、同世代の若者の水産業への興味・感心を高めるだけでなく、現在水産業を牽引している世代、水産業に関心を持つ企業にも新たな気付きとなる内容です。

■東北経済産業局長 コメント

三陸に大きな被害をもたらした東日本大震災から10年、復旧から復興へと進んできた産業復興は、復興から創造へと新たなステージに入ります。三陸の基幹産業である水産業を核とし、様々な業種や志高い若者の参加・協力を得て、DXやSDGsへの新たな挑戦、それを担う若い人材への魅力発信などの取組が始まっています。このような未来創造に挑戦する三陸を、東北経済産業局は力強く支援します。

東北経済産業局長 平井淳生



視聴者対象

水産事業者、水産業に興味・関心のある都市圏に住む社会人や学生、金融機関、テック企業、研究機関、水産関係機関、自治体等

配信・視聴方法／Youtube・Liveにて配信し、PC、スマホ等から視聴していただきます。

講演者、ゲストスピーカーについては、随時サミット特設ページにて告知いたします。

<http://sanrikusuisan-innovation.go.jp/summit/>

三陸水産イノベーションプロジェクト

<http://sanrikusuisan-innovation.go.jp/>

主催／経済産業省・東北経済産業局、フィッシャーマン・ジャパン

共催・後援／復興庁、岩手県、宮城県、福島県、三陸地域水産加工業等振興推進協議会

協賛・協力／東日本電信電話株式会社（NTT東日本）、協賛・協力企業は随時募集

※主催者、参加者、前回マッチング事例などあれば追記

本件への問い合わせ先：

フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング 津田・土合

メール jinzai@fishermanjapan.com

電話 090-4553-4077(津田) 平日10:00-18:00